



TITLE:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1971, 15(5): 403-408

ISSUE DATE:

1971-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88196>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和46年2月20日発行 (毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第15巻 第5号

vol. 15 no. 5

物性研究

1971 | 2

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と \times (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と \times (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

[東大・久保研]

- Minimal and Maximal Topologies
(J. Girhiny)
- Preservation of Topological Properties under Lattice Operations and Relations
(J. Girhiny)
- Theory of Melting Transition
— Similarity in the Configurational Phase Space —
(Yoshiki Kuramoto)
- Localized Spin Fluctuations in Metals
(J. R. Schrieffer, W. E. Evenson, and S. Q. Wang)
- Resistive Anomalies at Magnetic Critical Points
(Satoshi Takada)
- Definition of the Critical Region : Correction Terms in the Scaling Form of Equation of State
(C. Domb)
- On the Droplet Model for Critical Phenomena
(L. Reatto)
- Critical Magnetic Scattering in K_2NiF_4
(R. J. Birgeneau, J. Skalyo, Jr., and G. Shirane)
- Spin-Wave and Critical Neutron Scattering from Chromium
(J. Als-Nielsen, J. D. Axe, and G. Shirane)
- Neutron Scattering Study of the Lattice Dynamical Phase Transition in V_3Si
(G. Shirane and J. D. Axe)
- Neutron Scattering Study of Soft Modes in Cubic $BaTiO_3$
(J. Harada, J. D. Axe, and G. Shirane)

プレプリント案内

[名大・理・物理, S 研]

- Theory of Dilute Magnetic Alloys
(K. Fisher)
- Hydrodynamic Equations for the Condensate and the
Depletion of Helium II.
(H. Haug, and K. Weiss)
- Heat Exchange in Liquid Helium by Phonon Tunnelling
Through Very Thin Plates
(H. Haug, K. Weiss and M. Van Hove)

[東北大・工・応物, 桂研]

- Critical temperature as accumulation of least zeros
of cluster coefficients
(T. Kihara and J. Okutani)
- A dynamic approach to phase transition based on
moments
— Quasi-collective mode and the range of coherence —
(K. Tomita and H. Tomita)
- Phase transition of the Heisenberg ferromagnet
(A. Oguchi)
- Theory of melting transition
— Similarity in the configuration phase space —
(Y. Kuramoto)
- On the droplet model for critical phenomena
(L. Reatto)
- Phase transition and critical phenomena in
two-dimensional Heisenberg antiferromagnet with
anisotropy
(L. Reatto)

- Singularity structure of the perturbation series for the ground state energy of a many fermion system (G.A.Baker, Jr.,)
- Spin-density waves in a Heisenberg ferromagnet (J.Ranninger and C.R.Natori)
- Equivalence of the two-dimensional Ising model to the ground state of the linear XY model (M.Suzuki)
- Inelastic scattering of neutrons from antiferromagnets (M.P.Schulhof)
- Two magnon bound state due to magnon-phonon coupling (R.S.Silberglitt and A.H.Luther)
- Phase transitions in two dimensional spin systems (D.D.Betts, C.J.Elliott, and R.V.Ditzian)
- Critical behavior of the spin system with anisotropic exchange interaction (T.Oguchi)
- Critical points dependent on parameters (R.G.Griffiths)
- Dynamical theory of fluctuations near the critical points (Kyozi Kawasaki)
- On the theory of Brownian motion IV. A hydrodynamic model for the friction factor (Robert M.Mazo)
- Universality of critical correlation in the three-dimensional Ising ferromagnet (M.Ferer, M.A.Moore and Michael Wortis)
- Low temperature critical behavior of the Ising model of ferromagnetism (A.J.Guttman)

◎ 人のうごき

大 見 哲 巨 氏 2月より京大理学部物理教室に転出予定

掲 示 板

物性研短期研究会

「液体及び固体ヘリウム」

開催に就いて

上記研究会を以下の要領で開催の予定です。

1) 研究会の主旨

従来、液体及び固体ヘリウムの物性実験は、我が国では、殆んど行われていなかったが、LT12を機として、研究を既に始めたグループ、あるいは、近く始めようとするグループが各地に現われてきた。この際、関係する実験家及び理論家が互に研究計画を持ちより、問題点や予想を討論することが必要でもあり、また、有効と考える。したがって、この研究会は、成果の発表や勉強を目的とせず、限られたグループの討論会という性格をもたせたい。

2) 開催予定期日

46年3月中旬, 3日間

3) 場 所

東京大学 物性研究所

4) 参加予定者

約 40名

◎ 人のうごき

大 見 哲 巨 氏 2月より京大理学部物理教室に転出予定

掲 示 板

物性研短期研究会

「液体及び固体ヘリウム」

開催に就いて

上記研究会を以下の要領で開催の予定です。

1) 研究会の主旨

従来、液体及び固体ヘリウムの物性実験は、我が国では、殆んど行われていなかったが、LT12を機として、研究を既に始めたグループ、あるいは、近く始めようとするグループが各地に現われてきた。この際、関係する実験家及び理論家が互に研究計画を持ちより、問題点や予想を討論することが必要でもあり、また、有効と考える。したがって、この研究会は、成果の発表や勉強を目的とせず、限られたグループの討論会という性格をもたせたい。

2) 開催予定期日

46年3月中旬, 3日間

3) 場 所

東京大学 物性研究所

4) 参加予定者

約 40名

5) 研究会参加御希望の方は、研究計画の概要(400字以内)、旅費の要
・不要等を書き添えて、至急、物性研、中嶋宛にお申し込み下さい。

(世話人) 碓井恒丸, 中嶋貞雄, 生嶋 明

編 集 後 記

この所京都は曇天の下にうっとおしい日々が続いている。今月の編集会議は京都編集員の半数が集るに留まった。投稿原稿の賑いに比して、少々寂しかった。年会での拡大編集会議の後始末も一応先月で終り、今月は化学反応特集について相談した。諸氏のご協力を得て成功させたいと願っている。

「物性研究」が物性研究者に不可欠の雑誌となるまでに成長することを編集員の一員としては願うものである。本誌の構成は随時、検討・改善されるべきであるが、プレプリント案内、人の動き、掲示板、ニュースの欄もその一つであろう。これらの欄による情報伝達是他誌に比して迅速性には誇りうる特長があるのであるが、情報内容は如何であろうか。研究に不可欠の情報が compact な形で迅速に提供されているとは言えない現状でないだろうか。読者諸氏も一度これらの欄を検討して頂き、忌憚のないご意見を編集部にお寄せ願いたい。

1月26日

K. I.

物 性 研 究

第 15 卷 第 5 号
1971年2月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL(441) 1659(431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

編 集 後 記

この所京都は曇天の下にうっとおしい日々が続いている。今月の編集会議は京都編集員の半数が集るに留まった。投稿原稿の賑いに比して、少々寂しかった。年会での拡大編集会議の後始末も一応先月で終り、今月は化学反応特集について相談した。諸氏のご協力を得て成功させたいと願っている。

「物性研究」が物性研究者に不可欠の雑誌となるまでに成長することを編集員の一員としては願うものである。本誌の構成は随時、検討・改善されるべきであるが、プレプリント案内、人の動き、掲示板、ニュースの欄もその一つであろう。これらの欄による情報伝達是他誌に比して迅速性には誇りうる特長があるのであるが、情報内容は如何であろうか。研究に不可欠の情報が compact な形で迅速に提供されているとは言えない現状でないだろうか。読者諸氏も一度これらの欄を検討して頂き、忌憚のないご意見を編集部にお寄せ願いたい。

1月26日

K. I.

物 性 研 究

第 15 卷 第 5 号
1971年2月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL(441) 1659(431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

購読規定

個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

※ 1年間の会費

1st volume 960円

2nd volume 960円

計 1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 1,800円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらゐに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 15—5 (2月号) 目 次

○ s-d singlet state にある標的による電子の散乱 I	川村 清...	335
○ 酵素反応論と化学反応論の現状と問題点	垣谷俊昭...	351
○ インバーのスピンのエネルギーの圧力依存性.....	勝木 渥 寺尾 洸...	381
○ 不規則系の Phonon Spectra の計算 —Taylor の論文に対するコメント—	中村充伸...	395
○ プレプリント案内		403
○ ニュース・掲示板		406
○ 編集後記		408

物 性 研 究 15—5 (2月号) 目 次

○ s-d singlet state にある標的による電子の散乱 I	川村 清...	335
○ 酵素反応論と化学反応論の現状と問題点	垣谷俊昭...	351
○ インバーのスピนว波エネルギーの圧力依存性.....	勝木 渥 寺尾 洌...	381
○ 不規則系の Phonon Spectra の計算 —Taylor の論文に対するコメント—	中村充伸...	395
○ プレプリント案内		403
○ ニュース・掲示板		406
○ 編集後記		408